



株主通信
セコム株式会社

12月 [2014年4月1日から
2014年9月30日まで]
第54期中間報告書

2014年



セコムグループの総力を結集して 「安全・安心・快適・便利」な社会を実現する

“ALL SECOM”の現在の取り組み、
今後の決意について、
社長の伊藤 博から
ご説明させていただきます。

伊藤 博

セコム株式会社 代表取締役社長



「ALL SECOM」の現在の取り組みについて 所感をお聞かせください。

今年6月末に「セコム・ホームセキュリティ」のご契約が100万件を突破しました。これは一通過点であり、今後、本格的に普及させていきます。

お客様のすべてのお困りごとにお応えできるよう、生活支援サービス「セコム・ホームサービス」のメニューの幅を“ALL SECOM”で広げていきます。お客様からいただくたくさんのご相談やご要望はセコムへの信頼と期

待であると感じています。

セコムはいま、3つの分野で

「安全・安心・快適・便利」なサービスを提供しています。
まず、「セキュリティ」分野の取り組みについてお聞かせください。

セコムは現在「セキュリティ」「超高齢社会」「災害・BCP(事業継続計画)・環境」を柱にサービスの提供を行っています。

セキュリティの分野においては、防犯機能と出入管理

機能を一体化した「セコムLX」と、防犯機能と設備制御機能を一体化し、無人店舗の自動運営や省エネを実現する「セコムFX」といった事業所向けセキュリティシステムが好評で、業績に寄与しています。

また、食品への農薬混入や個人情報の漏えい事件を契機に、防犯や監視のニーズが高まり、次世代型防犯カメラシステム「セコムNVRシステム」と、同システムで取得した画像データをセコムのデータセンターで預かる「セコム画像アーカイブサービス」も好調です。

サイバーセキュリティでは、被害額が急増しているネットバンキングの不正送金を防止する「セコム プレミアムネット」の販売を開始し、金融機関はもちろん、ネットバンキングのご利用者の関心を集めています。

「超 高齢社会」への対応も着実に進んでいますね。

「住み慣れた地域・自宅で安心して暮らしたい」という高齢者の方々のご要望にお応えするため、昨年11月にサービス付き高齢者向け住宅とデイサービス、地域交流スペースを備えた複合施設「セコムカリアあざみ野」を開設しました。

また今年4月には、訪問看護、訪問介護、デイサービス、居宅介護支援の4サービス拠点を集約した在宅医療・介護サービスの総合拠点「セコム在宅総合ケアセンター鎌倉」をオープンしました。

さらに、9月には“AEDをいざというときに、いつでも、誰でも使える社会”の実現を目指し、「セコムAEDスキルアップサービス」の販売を開始しました。

「災害・BCP・環境」分野でもセコムのサービスは不可欠になっていますね。

大規模な災害の発生が相次ぎ、企業では防災や事業継続のための対策が必須になっています。そのことは、災害時に社員と家族の安否を把握できる「セコム安否確認サービス」が約5100社、約450万人の方に利用されていることでもわかります。

実は、重大事故や大規模災害発生時、社員の適正配置を実現する「セコム非常呼集サービス」は、ご契約先からの「安否が確認できたらすぐに、事業継続のために社員を呼集したい」という要望に応じて開発したもので、このサービスもお客様から好評をいただいています。

また、災害発生時にいち早く正確な情報を入手することは、安全な避難や事業継続の判断・指示に役立つため、「リアルタイム災害情報サービス」の利用も急増しています。

最後に、今後の決意をお願いします。

株主の皆様への利益還元之机を充実させるべく、今期から中間配当制度を導入しました。

セコムはこれからもお客様のご意見やご要望、社会からの要請に耳を傾け、社会にとって必要不可欠なサービスを、セコムグループの総力を結集して創出し、「安全・安心・快適・便利」な社会の実現に邁進していきます。

「安全・安心」そして「快適・便利」をトータルに提供

セキュリティサービス事業

セコム(株)を中心に、企業・家庭・個人向けのセキュリティサービスを提供しています。

企業向けにはオンライン・セキュリティシステムをはじめ、大規模施設向け安全管理システム、安全商品、常駐警備、現金護送を提供しています。



家庭向けには「セコム・ホームセキュリティ」をはじめ、マンション向けセキュリティシステム、安

全商品を提供しています。今年6月にはホームセキュリティのご契約数が100万件を突破し、家庭におけるセキュリティのニーズは高まり続けています。

また、屋外を移動する人・車・物の位置情報検索機能や緊急通報機能を備え、いざというときは緊急対応員が駆けつける屋外用携帯緊急通報システム「ココセコム」も認知症の方の見守りや、超高齢社会を支えるサービスとして需要が高まっています。

セコムはこれからも、「安全・安心」な社会の実現に努めていきます。

防災事業

セコムの防災事業を担う能美防災(株)とニッタン(株)では、防災システムの研究開発、設計、生産、施工、メンテナンスまでを一貫した責任体制で提供しています。

主に、ビル、地下街、文化財、プラント、トンネル、船舶、集合住宅などへの防災システムの提供を通じて、お客様の人命と財産を守っています。

また、両社は海外でも防災機器の販売を行っており、海外市場でも一層の拡販を図っていきます。



メディカルサービス事業

セコム医療システム(株)を中心に、医療、介護、健康・予防の分野でトータルなメディカルサービスを提供しています。

医療分野では訪問看護と薬剤提供を

柱とした在宅医療サービスやセコムの提携病院・クリニックの運営支援、遠隔画像診断支援サービス、電子カルテな

どを提供しています。今年3月にはインド・バンガロールに「サクラ・ワールド・ホスピタル」を開院しました。

介護分野では訪問介護とデイサービスの提供や、シニアレジデンスと介護付有料老人ホームを運営しています。今年4月には訪問看護、訪問介護、デイサービス、居宅介護支援のサービス拠点を集約した「セコム在宅総合ケアセンター鎌倉」を開設しました。

健康・予防分野では、会員制健康クラブや電話健康相談サービス、予防医療サービス、オリジナル健康食品の販売を行っています。

保険事業

セコム損害保険(株)では、ホームセキュリティを導入されている場合に、お住まいの保険料が割引になる「セコム安心



マイホーム保険」や、事故現場にセコムの緊急対処員が駆けつける「セコム安心マイカー保険」など、セコムグループならではの保険を開発・販売しています。



また、ガン治療にかかった入院治療費の自己負担分を実額補償するガン保険「自由診療保険メディコム」も、その商品性が支持され高い評価を得ています。

今後も、インターネットを利用した販売に力を入れるなど、お客様のさらなる利便性向上にも努めていきます。

地理情報サービス事業

(株)パスコは、航空機や車両、人工衛星、船舶を利用した測量や計測で、地理情報データを集積し、加工・処理・解析した空間情報サービスを国内外の官公庁や自治体、企業に提供しています。



現在は、国内外でニーズが高まる社会インフラの整備や維持管理、災害対策などに空

間情報技術で応えるとともに、経済発展著しいASEAN市場での事業強化にも注力しています。

これからも空間情報サービスの提供を通じて、世界の災害・環境対策や社会インフラの維持管理に努めていきます。

情報通信事業

セコムグループは、2012年に(株)アット東京がグループ入りし、国内最大クラスのデータセンター事業会社として、情報セキュリティ、大規模災害対策、クラウドサービスを柱に事業を展開しています。

セコムトラストシステムズ(株)では、被害が急増するネットバンキングの不正送金被害を防止する「セコムプレミアムネット」の開発・販売や、サイバー攻撃の対処方法を学べる研修プログラム「サイバー道場」の開設など、社会が抱える不安を解消するためのサービスの開発・提供に努めています。

また、BCP(事業継続計画)に不可欠



な社員、家族、取引先の安否を確認する「セコム安否確認サービス」シリーズの提供や、災害発生時にSNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)やセコム独自の情報などをビッグデータとして収集・分析して提供する「リアルタイム災害情報サービス」の提供も行っています。

不動産・その他の事業

セコムホームライフ(株)は、「安全・安心で高品質な住まい」をコンセプトにした「グローリオ」マンションシリーズを販売しています。

セコムならではの最新のセキュリティシステムや防災システム、耐震性を備えるだけでなく、環境にも配慮しています。

また、入居後のお困りごとに24時間365日体制で応える「グローリオサポート24」の提供も大きな特長の一つです。

これからも超高齢化、核家族化と多様化する社会に最適なマンションの開発・提案に注力していきます。



「セコム・ホームセキュリティ」 ご契約家庭が100万件に

今年6月、「セコム・ホームセキュリティ」の国内のご契約数が100万件を突破しました。

1981年1月、セコムは日本初の家庭用安全システムとして「マイアラーム」(現:「セコム・ホームセキュリティ」)を開発し、販売を開始しました。「マイアラーム」の機能は、家庭内に設置した侵入・火災・ガス漏れのセンサーによる異常検知と、非常通報で、これらは現在でもホームセキュリティの主な機能です。

超高齢化や核家族化が進み、家庭の安全を取り巻く環境が変化するなか、ホームセキュリティのニーズも高まりを見せています。また、戸建住宅だけでなく、賃貸の集合住宅におけるホームセキュリティの需要も高くなっています。

セコムはこれからも時代の変化や社会のニーズを先読みし、独自の研究開発力を活かし、ホームセキュリティのシステムやサービスをさらに進化させ、「安全・安心・快適・便利」な社会の構築を目指していきます。



100万件以上に「安全・安心」を提供する
「セコム・ホームセキュリティ」

「セコム海外赴任者パッケージ」を販売開始 「長期不在宅サービス」の提供も開始

今年6月、セコムは海外赴任者とその家族をサポートする「セコム海外赴任者パッケージ」と、「長期不在宅サービス」の提供を開始しました。

「セコム海外赴任者パッケージ」は、転職の辞令を受けた海外赴任者がスムーズに転職の準備を行えるよう支援するサービスです。たとえば、不在宅のセキュリティから愛車の売却処分、日本に残る高齢の親御さんの看護や介護など、依頼先も依頼内容も異なる煩雑な調整を、セコムグループが窓口となり、グループ内で提供できるサービスを選定、提供します。

また、これまではご利用者の在宅を条件に提供してきた生活支援サービス「セコム・ホームサービス」ですが、「不在時の自宅の通気をお願いしたい」「長期不在になるのでその間、投函物の回収をお願いしたい」というお客様の声に応え、新メニュー「長期不在宅サービス」を開始しました。

「セキュリティ」「超高齢社会」「災害・BCP・環境」に対応するさまざまなサービスを提供するセコムグループだからこそ実現できる新サービスを積極的に提案していきます。



不在宅の通気などを行う
「長期不在宅サービス」

ひとりでも多くの命を救う 「セコムAEDスキルアップサービス」を提供開始

今年9月、AED(自動体外式除細動器)を設置している企業の社員や職員の方に対し、AEDの使用方法やスキルの維持向上を図ることができる「セコムAEDスキルアップサービス」の提供を開始しました。

セコムでは、一般の方がAEDを使うことができるようになった2004年から、AEDの機器のレンタルから消耗品の管理までをトータルに提供するサービス「セコム



知識とスキルを持ったプロが指導

AEDパッケージサービス」を提供しています。提供開始から10年経った現在、AEDは駅や空港、ショッピングセンターなどでも設置され、普及が進んでいます。また、セコムのAEDによる救命人数も1100名を超えました。

より多くの命を救うためには、一人でも多くの方がAEDを使えることが不可欠です。「セコムAEDスキルアップサービス」は、公的機関が実施する上級救命講習などを受けたセコムの担当者による講習会と、ウェブによる講習を実施するサービスです。セコムは、“AEDがいざというときに、いつでも、誰でも使える社会”の実現を目指していきます。

診療実績のデータ分析からコンサルティングまでを行う 「セコム・スマッシュ」を提供開始

今年10月、セコム医療システム(株)は、病院の診療実績データを分析し、コンサルティングまで行う病院マネジメント支援サービス「セコム・スマッシュ」の提供を開始しました。

本サービスは、それぞれの病院が持つ診療実績データを、セコム独自の分析手法を使い、診療科ごとの収支や患者数、入院日数の推移などを分析し、病院経営に不可欠な指標をグラフなどで分かりやすく解析します。

さらに、分析されたデータはすべてセコムが運営する「セキュアデータセンター」で厳重に保管・管理されるため、情報漏えいの心配もありません。このサービスはクラウド方式で提供するため、院内にサーバーを設置する必要もなく、初期費用やメンテナンス費用を抑えることもできます。

また、病院運営業務に精通したセコム医療システムの専門のコンサルティングチームが「セコム・スマッシュ」で得られた分析データをもとに経営分析を行い、定期的なコンサルティングを実施します。

これからも革新的なサービスを開発し、メディカルサービス事業でも「安全・安心・快適・便利」な社会の構築を目指していきます。



メディカルサービスや情報通信事業のノウハウを活用し病院運営を支援

最先端の技術と人を融合したサービスを創出 社会が必要とするサービスをいち早く提供する

■ 特品部のミッションを教えてください。

日本は世界に先駆けて超高齢社会となり、核家族化も進んでいますが、セコムは誰もが安心して暮らせる社会の実現を目指しています。

特品部では、主に医療や福祉に関するシステムやサービスのマーケティングを通じて、セコムでなければ実現できないサービスの提供に取り組んでいます。

■ 社会のニーズを先読みして 誕生したサービスについて教えてください。

たとえば2001年に発売した位置情報提供システム「ココセコム」は認知症や徘徊の不安がある方の居場所を確認するサービスとしてご利用者が増えています。

2013年4月から販売を開始した、救急通報機能、GPS機能、携帯電話機能を備えた高齢者向け救急時対応サービス

「セコム・マイドクタープラス」は、これからの社会に必要なサービスです。屋内外問わず、救急通報や看護師による電話健康相談だけでなく、ご要請に応じて転倒対応の訓練を積んだセキュリティのプロが駆けつけるサー



セコムの新サービス

New Service

時代や社会の変化を先読みして、社会に必要なサービスやシステムを創出するセコムグループ。超高齢社会に必要なサービスの提供を目指すセコム(株)特品部の取り組みをご紹介します。

セコム(株)
特品部



セコム(株)特品部
部長 佐藤 謙一

Kenichi Sato

ビスは、お客様からご好評をいただいています。

そして、今年9月から提供を開始した「セコムAEDスキルアップサービス」。AEDの普及が進む現在、AEDをいつでも使えるように管理するだけでなく、いざというときに備えて、AEDを使用する人の知識やスキルの向上を図れるサービスです。

■ 画期的なサービスはどのように生まれるのでしょうか。

お客様とのつながりを持つセキュリティスタッフや研究開発部門との密な連携が新サービスを創出します。お客様の声、社会動向に耳を傾け、独自の技術を使ってサービスを具現化するセコムだからこそ実現できると自負しています。これからも「安全・安心・快適・便利」な社会の実現を目指して邁進していきます。

お客様の家族構成やお困りごとに応じて “ALL SECOM”の多彩なサービスを提案

「セコムショップ」での活動について 教えてください。

全国に45カ所ある「セコムショップ」は、住宅街の近くに店舗を構え、ご家庭向けに「セコム・ホームセキュリティ」の提案を行っています。

新規のお客様を訪問するほか、既存のお客様には時季に応じたご案内や新サービスの紹介を行っています。

また、地域の工務店にホームセキュリティをご案内し、家の新築やリフォームの機会にホームセキュリティの導入を検討されている方がいらっしゃれば紹介していただくようにしています。

お客様にセキュリティを提案する際には、 どのようなことを心がけていますか。

お客様の家族構成や生活スタイル、不安に感じていることをよくお聞きするようにしています。

ホームセキュリティに加えて、外出時の安全対策に屋外用携帯緊急通報システム「ココセコム」、救急時対応サービス「セコム・マイドクタープラス」、ご家庭のさまざまなお困りごとに対応する「セコム・ホームサービス」、各種保険など“ALL SECOM”の幅広いラインアップから、それぞれのお客様に合った提案ができることがセコムの強みです。

セコムのフィールド
Field

セコムショップ



セコムのセキュリティシステムは、安全のプロによるサービスにより支えられています。「セコム・ホームセキュリティ」をはじめとするサービスや商品を通じてご家庭に安全対策を提案する「セコムショップ」を紹介します。

セコム(株)ホームマーケット営業本部
セコムショップ立川 店長 相川華江

Hanae Aikawa

「セコム・ホームセキュリティ」を導入された方の 評価はいかがでしょう。

お客様から「夜もぐっすり眠れるようになりました」「安心して旅行に行ってきました」というお声をいただくのは、私も嬉しく、やりがいを感じます。

「セコム・ホームセキュリティ」は、今や100万件以上のご家庭でご利用いただいています。そこにお住まいの方々の安全を守っているという責任感を胸に、お客様に末長く信頼いただけるよう取り組んでいきます。



マレーシアでセキュリティシステムを開始し23年 総合的な提案力で「安全・安心」を提供



セコムグループは、
セキュリティをはじめ、防災、メディカル、
地理情報サービス事業でも海外に展開。
現在21の国と地域で
「安全・安心」を提供しています。



東南アジアの中心に位置するマレーシア。
マレー系、中国系、インド系などから構成され
る多民族国家で、それぞれの宗教や習慣が融合した文化
が魅力のひとつです。

セコムは、1991年に現地の財閥であるライオングループ
とマレーシア警察共済会と合併で、セコムマレーシア(株)を設
立。首都クアラルンプールを中

心に、マレーシアで初のトータルなオンライン・セキュリティ
システムを提供開始しました。

セキュリティシステムの販売・設置、異常監視、緊急対処、
保守、それぞれを異なる会社が
提供する欧米型のサービス提供が主流のマレーシアにおいて、
セコムでは、それらを一貫して自社で担う“セコム方式”でお客



セコムマレーシアの緊急対応員

様に「安全・安心」を提供しています。

現在は、常駐警備サービスや各種
安全商品の販売・保守、AEDの提供
などにも拡大しています。そして東南
アジア各国の課題である内部犯行
対策として、セコムマレーシアでも、

施設全体のセキュリティ管理はもちろん、お客様に代わって他社
の常駐警備員を指導したり、経営者に直接セキュリティ状況など
を報告するセキュリティマネジメントサービスも提供しています。

セコムマレーシアのセキュリティは、お客様施設のセキュリ
ティ診断に基づいた総合的なプランニングと、23年の経験を
活かしたサービスが高く評価され、ご契約先は、金融機関や各
国大使館などにも広がっています。

これからも、日本と同様に高品質の「安全・安心」をマレーシ
アで提供していきます。



セコムマレーシアの
コントロールセンター

「走り続けるセコム」が長距離競技とラグビー競技を協賛・支援

創業以来、目標に向かって
愚直に走り続ける企業風土を育んできたセコム。

このたび長距離競技や
学生スポーツ、ラグビー競技への協賛を通じて、
日本のスポーツ界の
発展に寄与していきます。

*セコムが協賛・支援している競技は以下の通りです。



昨年の東京マラソン・フィニッシュゲートのようす ©Tokyo Marathon Foundation



「東京マラソン2015」オフィシャルパートナー
開催日：2015年2月22日(日)

東京マラソンは、世界最高峰のワールドマラソンメジャーズ6大会の一つで日本最大のマラソン大会。ランナー約3万6千人、沿道の応援者は約160万人に上ります。2013年のボストンマラソンで発生したテロ事件を契機に、安全な大会運営を求められているマラソン競技で、セコムは大会を盛り上げるとともに、警備面においてもサポートをします。



「第91回箱根駅伝(東京箱根間往復大学駅伝競走)」事業協賛
開催日：2015年1月2日(金)～3日(土)

箱根駅伝は、日本で最も歴史(大正9(1920)年開始、次回で91回目)があり、最も人気のある学生駅伝。沿道の応援者が約126万人に上り、警備においてさらなる安全性の確保が必要となったため、セコムが事業協賛をすることになりました。セコムは、大会の警備強化を図り、円滑な競技運営をサポートするとともに、学生スポーツを支援します。



「名古屋ウィメンズマラソン」オフィシャルパートナー
開催日：2015年3月6日(金)～8日(日)

女性限定のフルマラソン大会である「名古屋ウィメンズマラソン」をメインとして、ハーフマラソンやクォーターマラソンなどで構成される「名古屋シティマラソン」を組み合わせたマラソンの祭典に協賛。「名古屋ウィメンズマラソン」は、ギネス世界記録にも認定された「世界最大の女子マラソン」で、2015年には約1万8000人もランナーが参加する予定です。



「ラグビー女子日本代表」オフィシャルスポンサー



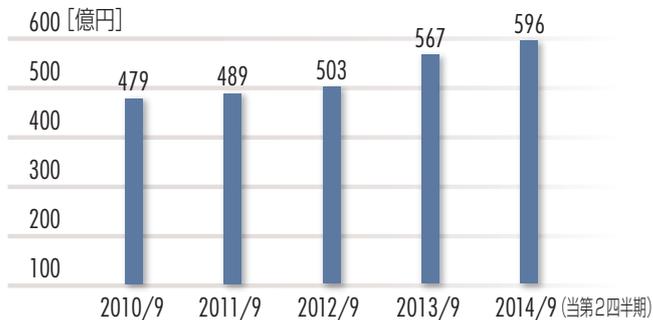
アジアの中では最も競技人口が多いとされる、日本の女子ラグビー。ここ数年で急成長を遂げており、15人制やセブンス(7人制)の国際舞台での活躍が期待されています。セコムは、公益財団法人日本ラグビーフットボール協会に、ラグビー女子日本代表のオフィシャルスポンサーとして2014年度から協賛し、知名度の向上、競技人口の増加を目指して支援しています。

連結決算 業績ハイライト — 第2四半期累計

売上高



営業利益



経常利益



四半期純利益

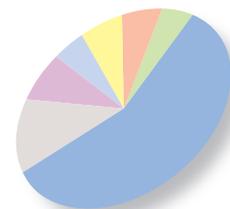


1株当たり四半期純利益



事業別売上高内訳 2014/9(当第2四半期)

● セキュリティサービス事業	2,296 [億円]	58.4%
● 防災事業	493	12.5%
● メディカルサービス事業	283	7.2%
● 保険事業	179	4.6%
● 地理情報サービス事業	235	6.0%
● 情報通信事業	238	6.0%
● 不動産・その他の事業	207	5.3%



連結貸借対照表(要旨) — 第2四半期末

2014年9月30日現在

<単位: 億円> *注: 金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

資産の部

流動資産	5,563
現金及び預金	2,222
現金護送業務用現金及び預金	497
受取手形及び売掛金	834
未収契約料	251
有価証券	308
リース債権及びリース投資資産	359
たな卸資産	381
販売用不動産	228
繰延税金資産	132
短期貸付金	27
その他	318
固定資産	7,630
有形固定資産	3,552
建物及び構築物	1,486
警報機器及び設備	700
土地	1,122
その他	242
無形固定資産	485
投資その他の資産	3,591
投資有価証券	2,510
長期貸付金	439
退職給付に係る資産	232
繰延税金資産	67
その他	341
繰延資産	0
資産合計	13,194

負債の部

流動負債	2,206
支払手形及び買掛金	366
短期借入金	346
一年以内償還予定社債	45
未払金	264
未払法人税等	208
前受契約料	324
その他	650
固定負債	2,480
社債	71
長期借入金	224
預り保証金	358
退職給付に係る負債	192
保険契約準備金	1,439
その他	194
負債合計	4,687
株主資本	7,465
資本金	663
資本剰余金	802
利益剰余金	6,735
自己株式	△736
その他の包括利益累計額	9
少数株主持分	1,031
純資産合計	8,507
負債純資産合計	13,194

純資産の部

連結損益計算書(要旨)―第2四半期累計

<単位：億円> *注：金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

	当第2四半期 累計(2014年4月1日から 2014年9月30日まで)	前第2四半期 累計(2013年4月1日から 2013年9月30日まで)	増減率
売上高	3,933	3,923	0.3%
売上原価	2,564	2,582	
売上総利益	1,369	1,340	2.2%
販売費及び一般管理費	773	772	
営業利益	596	567	4.9%
営業外収益	123	78	
営業外費用	17	22	
経常利益	702	624	12.6%
特別利益	18	1	
特別損失	22	1	
税金等調整前四半期純利益	698	624	11.9%
法人税、住民税及び事業税	208	229	
法人税等調整額	31	0	
少数株主損益調整前四半期純利益	458	395	16.0%
少数株主利益	46	40	
四半期純利益	411	354	16.2%

営業の概況(連結)

当第2四半期連結累計期間における売上高は3,933億円(前年同期比0.3%増)、営業利益は596億円(前年同期比4.9%増)、経常利益は702億円(前年同期比12.6%増)、四半期純利益は411億円(前年同期比16.2%増)となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間の売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益はいずれも過去最高を達成することができました。

<参考>	●連結子会社数	173社
	●持分法適用関連会社数	25社
	●1株当たり四半期純利益	188円68銭

会社概要

セコム株式会社

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前1-5-1

Tel: 03-5775-8100 Fax: 03-5775-8902

- 資本金 66,377百万円
- 社員数(グループ総数) 53,567名(2014年3月31日現在)
- 事業内容

1962年、日本初の警備保障会社として創業。

1966年に日本で初めて開発したオンラインによる安全システムは、今では家庭や店舗、オフィスビル、金融機関、大規模商業施設などさまざまな施設に普及しています。

2001年からは、移動する人物・車両向けの新たなセキュリティサービスを開始したほか、常駐警備システムや現金護送システムの提供、各種安全商品などの販売を通じて、社会に「安全・安心」を提供しています。

セコムグループは、社会にとって「安全・安心・快適・便利」なサービスやシステムを次々に創造し、それらを統合化・融合化して、トータルな新しい社会システムとして提供する「社会システム産業」の構築を目指しています。

取締役 (2014年11月30日現在)

取締役(最高顧問)	飯田 亮
代表取締役会長	前田修司
代表取締役社長	伊藤 博
常務取締役	中山泰男
常務取締役	安齋和明
常務取締役	中山潤三
常務取締役	古川顕一
取締役	吉田保幸
取締役	布施達朗
取締役(社外)	廣瀬篁治*
取締役(社外)	澤田貴司*

監査役 (2014年11月30日現在)

監査役(常勤)	坂本正治
監査役(常勤)	桑原勝久
監査役(社外)	常松 健*
監査役(社外)	加藤秀樹*
監査役(社外)	関家憲一*

*印の5名を独立役員として
東京証券取引所に届け出ております。

執行役員 (2014年11月30日現在)

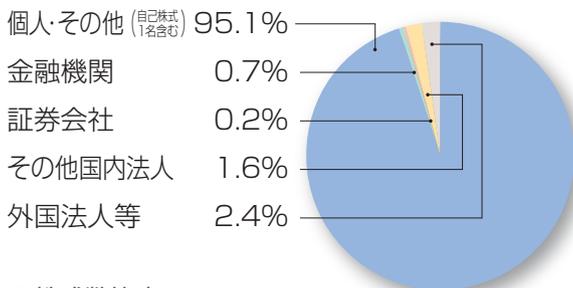
代表取締役会長	前田修司
代表取締役社長	伊藤 博
常務取締役	中山泰男
常務取締役	安齋和明
常務取締役	中山潤三
常務取締役	古川顕一
常務執行役員	向井俊之
常務執行役員	竹田正弘
常務執行役員	吉村輝壽
常務執行役員	森下秀生
常務執行役員	小松崎大夫
取締役	吉田保幸
取締役	布施達朗
執行役員	伊東孝之
執行役員	小松良平
執行役員	新井啓太郎
執行役員	園田博道
執行役員	石川 博
執行役員	杉本陽一
執行役員	泉田達也
執行役員	石村昇吉
執行役員	水野都飽
執行役員	福満純幸

I N F O R M A T I O N

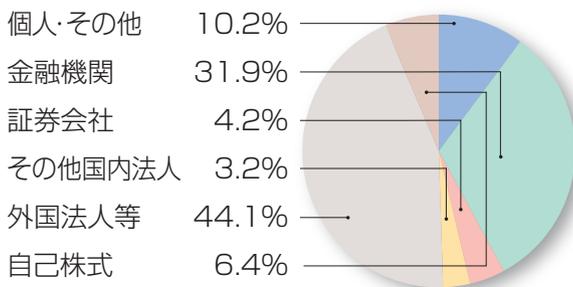
株式の状況(2014年9月30日現在)

- 1.発行可能株式総数 900,000,000株
- 2.発行済株式の総数 233,288,717株
- 3.単元株式数 100株
- 4.株主数 25,107名
- 5.所有者別状況

●株主数比率



●株式数比率



表紙写真のご説明

セコム・
ホームセキュリティ
G-カスタム

セコムは1981年に日本初のホームセキュリティを発売しました。2011年に機能を充実して最新のホームセキュリティシステムを販売開始。タッチパネルから大切な写真や証明書などの個人情報をデータセンターでお預りする機能などを付加。「セコム・ホームセキュリティ」のご契約家庭は2014年6月末に100万件を突破しました。



株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月
- 基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当 毎年3月31日
中間配当 毎年9月30日

- 上場証券取引所 東京証券取引所
- 証券コード 9735
- 公告方法 電子公告

<http://www.secom.co.jp/koukoku/>

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

- 株主名簿管理人 特別口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

株式に関する各種お手続きについて

証券会社に口座がある
株主様は…

▶ 口座がある証券会社へ
お問い合わせください。

特別口座に登録されている株式の
株主様は…

▶ 下記の特別口座管理機関
三菱UFJ信託銀行(株)へお問い合わせください。

未払い配当金のお支払いに関する
お問い合わせは…

▶ 下記の株主名簿管理人
三菱UFJ信託銀行(株)で承ります。

株主名簿管理人:特別口座管理機関 **三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部**

〒137-8081
東京都江東区東砂7丁目10番11号

☎0120-232-711 [平日 9:00~17:00]

手続用紙のご請求

☎0120-244-479 (音声自動応答)

インターネットからのダウンロード <http://www.tr.muftg.jp/daikou/>



本誌は環境に配慮し、FSC® 認証紙および植物性インキを使用しています。